



主婦が、社会を行うという提案

黒田インターナショナル コンサルティング

黒田 毅

社会を有するのは女性であるならば、その知恵において社会を創造することは、社会の閉塞性を打破し、新しい社会を模索であると考ええる。

男性が社会を支配することに対して、男女同権という新しい現実には女性がリーダーシップを持って社会を実現する新しい現実を提案するものである。

女性は過去において家庭を行ったものである。それらは女性の有する特異性は、社会という新しい現実の創造を行うことができるのである。

これらは男性社会という現実が変化し、新しい現実を可能とできると考える。真実において社会への理解をより有するのは、女性であるのである。

これらは既存社会の否定でなく新しい社会の創造であることは留意していただきたいと考える。

男性は権力主義者であるならば、女性は権力を否定する存在なのである。

これらは潜在的に存在する社会の可能性を実現することであり、新しい技術システムなどが共に新しい社会を創造することは、新しい社会の構築を可能とするのである。

これらは日本的な男性と女性の役割という、新しい創造であることは、真実において今日の男女平等という概念において否定されるかもしれない。しかし過去という現実における美点が、女性がこれらを受領し、行うことは存在するのである。

これらは女性における社会のリーダーシップが、ダイナミクスが支配する社会という現実に対して新しい社会の形成を行うことなのである。

これらは女性の主張が社会を与えることであり、一つの挑戦であることは真実なのである。

これら面白い挑戦は社会の新しい可能であると考ええる。